

第14回 日本フルートフェスティバル in 松江



2017年5月5日(祝・金)14:00 開演 (13:30 開場)

松江市総合文化センター プラバホール

入場料 一般/1,800円 高校生以下/1,200円 (全席自由)

指揮 保科 洋 (兵庫教育大学名誉教授)



ゲスト
《フルート》 ハン・ヨジン
《ピアノ》 蒲生 祥子

モーツァルト : ロンド ニ長調 KV373

パガニーニ : 24のカプリス Op.1

タファネル : 魔弾の射手によるファンタジー



《フルートオーケストラ》

シベリウス : 組曲「カレリア」より
ロッシニー : 「セビリアの理髪師」序曲
シューベルト : 五重奏曲「ます」より
アンダーソン : 「ジャズ・ピチカート」

《小学生アンサンブル》

島袋 優 : 「海の声」

《中学生アンサンブル》

福島 弘和 : 「雨の庭」

《高校生アンサンブル》

ヒラー : 「タミーノの音楽帳」

《出演者》

安達美月	油谷真由子	新井美夏子	嵐 元宏	有田美雪	石川強志	石倉真樹子	石倉里佳
石橋徳子	石原栄子	伊藤亜吏	伊藤早苗	稲田理佐	今岡美咲希	岩崎 綾	植 穂奈美
上野百合子	宇家郁子	江角かおり	遠藤結衣	大野良枝	大森文香	岡本清志	小川はな
小川愛未	乙加咲愛	加地 操	勝田美貴子	勝部富美子	金崎智枝	河村華奈	河村由香
木戸春霞	屈 銀斐	組嶽空香	桑畑純子	小杉ななみ	小西 凜	小早川真澄	佐藤里奈
重松千尋	嶋田愛子	末益里美	杉尾和音	隅田香穂	仙田未咲	曾田文夏	竹田育子
多々納愛子	田中梨菜	椿 朝妃	坪川史子	鄭 海霞	手納信一	寺戸 恵	徳永扶美江
飛田萌楓	中澤日菜	永田舞鈴	長縄倫子	流水真理子	柳楽小百合	柳楽マリ子	成合佳子
南場恵子	新出叶羽	西尾 恵	野津満子	浜崎喜恵	濱田愛美	原 まゆみ	原田順子
半澤美沙希	曳野晃太	久本夏希	樋野友香	姫野文恵	平井和枝	広原啓視	廣安成美
福田玲奈	福岡由里	藤田紀子	藤原佳子	布施真由美	布施有希乃	古川由美	古瀬雪乃
古山結菜	古山玲子	本田桂子	松下加奈	松田士郎	松田吉正	松平眞那	松本和恵
松本 透	三上里穂	三原ひなの	村上真奈	村側いづみ	森山博行	森山リサ	森脇 鈴
安井行香	山崎章子	山崎美重	山根早貴	山根稔理	山本咲恵	山本小織	山本智恵
山本友香	吉田範子	吉田壽子	吉村由望	吉本智瑛	若槻真歩	渡邊美奈	渡部 恵

(50音順)

《賛助出演者》 コントラバスフルート 山本 恭平 (大阪芸術大学教授)

ストリングコントラバス 和田守正則 (山陰フィルハーモニー管弦楽団)

主 催 / 松江フルートソサイエティー

後援 / 島根県教育委員会 松江市教育委員会 島根県吹奏楽連盟松江支部 日本フルート協会

協力 / ㈱アルタス 井上楽器店 ㈱グローバル サウンドらぼん タカキ楽器店 ドルチェ楽器 パール楽器製造㈱
パウエル・フルート・ジャパン FMCフルートマスターズ ㈱プリマ楽器 ㈱フルート工房マテキ ミヤザワフルート製造㈱
㈱村松フルート製作所 ㈱モリダイラ楽器 ㈱ヤマハミュージックジャパン

お問い合わせ / 090-4570-5447 (フルートフェスティバル事務局) または市内プレイガイド

※ 駐車場に限りがございますので、できるだけお乗り合わせか、公共の交通機関でお越しください。

ほしな ひろし
保科 洋 (指揮)

1960年、東京藝術大学作曲科卒、卒業作品にてその年の第29回毎日音楽コンクール作曲部門(管弦楽)で第1位を受賞する。以後、本格的に作曲活動を始めるかたわら、東京音楽大学、愛知県立芸術大学、兵庫教育大学で教鞭をとり、2001年3月に兵庫教育大学を定年退職し、同大学名誉教授となる。

作品は管弦楽曲、オペラ、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲、ミュージカルなど幅広いが、特に吹奏楽曲では日本を代表する作曲家の一人として知られ、作品のいくつかはアメリカでも課題曲に登録されるなど世界各国で演奏されている。特に2008年11月にイタリアで開催された国際ホルンコンクールの課題曲に「巫女の舞」が選ばれ、世界各国のホルン奏者によって熱演された。1991年には、日本吹奏楽学会アカデミー賞(作曲者賞)を、現存する作曲家では最初に受賞している。

指揮活動もシエナ・ウインドオーケストラをはじめ幅広く行っているが、特に、アマチュアを対象とした指導法はそのユニークな演奏解釈理論とともに定評があり、岡山大学交響楽団の常任指揮者を50年の長きにわたって続け、日本有数の大学オーケストラに育て上げるかたわら、客演指揮者としても全国各地のオーケストラや吹奏楽団で活躍している。兵庫教育大学名誉教授、作陽音楽大学客員教授、浜松アクト音楽院音楽監督、フィルハーモニーウインズ浜松音楽監督。

【主な作品】

オペラ「はだしのゲン」、オーケストラのためのバリエーション、古祀、祝典舞曲、カタストロフィー、シンフォニック・オード、饗宴I・II、愁映、メモアール、パストラレ、風紋、アルビレオ、懐想譜、チューバと吹奏楽のための「コンチェルティーノ」、ユーフォニアムとピアノのための「ファンタジー」、レクイエム1995(阪神大震災を悼んで)、ファゴットと吹奏楽のための「薄明かりの歌」、オーボエとピアノのための「祈りそして戯れ」、ホルンとオーケストラのための「巫女の舞」、復興、翔陽、インプレッション(松江フルートソサイエティ委嘱作品)、インテルメッツォ(平成29年度吹奏楽コンクール課題曲)他

【著書、CD等】

著書「生きた音楽表現へのアプローチ」1998年 音楽之友社
VHS、DVD「音楽指導者のための指揮法」1997年、2007年 ビクター・エンタテインメント社
作品集CD「風紋」1999年 Brain Music社
DVD「保科洋のすぐに役立つ演奏の隠し味」2005年 日本パルス社
DVD「保科洋×指揮・展覧会の絵」2007年 日本パルス社

ハン・ヨジン(Yeojin Han) (フルート)

韓国技術総合学校英才教育院を経て、2016年に15才の歳で韓国芸術総合学校最優秀学生として全額奨学金(学費免除)を授与され、最年少で入学した。

2016年にドイツで行われた「ドイツベルリン国際コンクール」で1位(ライジングスター)を、2015年フランスニースで行われた「第3回マクサンス・ラリュエ国際フルートコンクール」4位及びYoung Artist賞、作曲家賞を受賞した。2015年には「第5回カール・ニールセン国際フルートコンクール」に参加、最年少でファイナルリストまで上がり、特別賞を受賞した。そして、第18回びわ湖国際フルートコンクール一般部門で史上最年少1位及び聴衆賞を受賞した。また2014年に「10年後、韓国を輝かす100人」としてクラシック部門で最年少者として選ばれた。

2012年スペインバルセロナフルートコンベンションの招聘演奏でのデビュー舞台をはじめ、第16回日本フルートコンベンション(高松)招聘演奏、日本フルートフェスティバル(京都、大阪、名古屋、広島、東京)に招聘されてリサイタルと協演をしてきた。2015年にKumho Asiana文化財団の後援で中国Uhanに招聘され、Uhanフィルハーモニーオーケストラとメンデルスゾーンヴァイオリンコンチェルト全楽章とカルメンファンタジーを協演した。

フルート界の巨匠であるマクサンス・ラリュエ、フルート界の最高演奏者、フランスパリ高等音楽院(CNSM)教授フィリップ・ベルノルド、ベルリンフィルオーケストラ首席マチュー・デュフォー、NHK交響楽団首席神田寛明、アンドラシュ・アドリアン、ジョセーダニエル・カステロン、デニス・ブリアコフ、ミシエル・モラゲス、パンサン・リュカ、ジュゼッペ・ノヴァのマスタークラスを受け、2015年にはドイツのミュンヘン国立音楽大学教授であるアンドレア・リバクネイトのミュージックキャンプに参加して研鑽している。

現在、Powell Young Artistとして活発な演奏活動をしながら、韓国芸術総合学校でイ・イエリン教授に師事している。

がもう しょうこ
蒲生 祥子 (ピアノ)

大阪府出身。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て京都市立芸術大学に入学、在学中に野村国際文化財団の奨学金を得て渡仏。パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノと室内楽を学び審査員満場一致の首席で演奏学科のディプロムを取得。同年パリ国立高等音楽院に入学する。2008年、同音楽院を優秀な成績で卒業。

在学中よりヨーロッパ各地でのコンサートに多数出演し、好評を博す。パリ・エコール・ノルマル音楽院にて演奏員を務めるなど室内楽奏者、伴奏者としても活動。クラリネットの巨匠G.ダンガンとソプラノのV.イエンシェンとトリオ「Giocoso」を結成し、その活躍をフランス紙上にて取り上げられ「繊細で優雅な音色、一度聴くと忘れられないピアノ」と絶賛される。2009年～2016年にかけて毎年フランス国際ナントゥア音楽祭にソリストとして出演。2006年マリア・カナルス国際ピアノコンクール ディプロマ賞、第3回神戸芸術センター記念ピアノコンクール 金賞、第3回野島稔よこすかピアノコンクール 第1位。

これまでに大阪フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団とソリストとして共演。ピアノをG.ブリュデルマシエール氏に、室内楽をN.パタルチェック、J.マックマナマ、ピアノフォルテをP.コヘンの各氏に師事。近年はソロにとどまらず室内楽奏者・伴奏者としても国内外にて活躍している。